

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 循環器内科 水野 篤

【研究責任者】

聖路加国際病院 循環器内科 水野 篤

【研究代表者】

聖路加国際病院 循環器内科 水野 篤

急性期循環器疾患における真の“急性期”の定義における数理モデルを用いた検討

1. 研究の対象

1) 2007年1月1日から2018年12月31日までに心疾患で当院の集中治療室に入室された18歳以上の方急性期心疾患にて集中治療領域に入室した患者

2. 研究の目的・方法

心疾患の治療方法は発展してきており、治療効果はある程度上限にも達してきている部分もあります。いくつもの新しい治療は今後も出てきますが、ある程度の標準治療というものが確立してきております。一方で、実際の臨床現場では、大動脈バルーンパンピングといった、左室補助循環治療ををいつまで続けるべきか？カテコラミンなどの心臓をサポートする薬剤はいつまで持続するのか？といったことはその場その場で検討されています。予測モデルの作成は難しいとされていますが、ある程度の予測モデルを数理モデルを用いて検討できることは患者さんへの説明などにおいても有効であると考えられます。そこで今回は数理モデルを探索的に作成することを目的としております。

研究方法としては、すでに当院で実施された血液検査結果、治療方法の実際、そしてその評価などを調べるので、追加での情報収集は必要ありません。

研究期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までを予定しています。

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、背景疾患、心機能（心エコーデータ）、カテコラミン使用の有無、補助循環の有無、血圧、脈拍、体温、血液検査結果等

4. 外部への試料・情報の提供

本研究は長崎大学病院 臨床研究センターの統計家との連携を実施します。匿名化の上CD-R等の記録媒体を用いて長崎大学にデータの提供を行います。データと患者さんの対応表は当院研究責任者が3年間保管・管理後消去いたします。長崎大学へ提出・保管されているデータについても3年後消去いたします。

5. 研究組織

研究統括施設；住所：〒104-0044 東京都中央区明石町9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 循環器内科 水野 篤

研究協力施設および協力者；

長崎大学病院 臨床研究センター 佐藤俊太郎